

2025 年 5 月 29 日

文責 神谷弦希

第67回京都大学11月祭第1回全学実行委員会における
京都大学11月祭での環境対策に関する提案

1993年度に工学部11月祭中間実行委員会が実施した環境調査を契機として、翌1994年に環境対策委員会（以下「本委員会」という。）が設置された。以来30年にわたり、本委員会は11月祭期間中のごみ集積・分別等を中心に、環境保全を目的とする諸業務に継続して従事してきた。

11月祭は、現代社会における大量生産・大量消費・大量廃棄の構造をそのまま反映する大規模行事であるが、近年は環境配慮が国内外で社会的潮流となり、催事運営においても持続可能性への対応が強く求められている。こうした状況を踏まえ、本委員会は11月祭に関わるすべての企画・運営体制について、環境負荷低減の観点から不断の見直しを行うべき段階にあると認識している。

以上の認識に基づき、具体的提案を示す。

一、第67回京都大学11月祭全学実行委員会において、次の決議を行う。「第67回京都大学11月祭全実行委員会は、これまでの11月祭が及ぼしてきた環境への負担が著しいことを認め、総合的な環境への負担の削減のために、また11月祭の参加者への環境問題啓発のために、具体的対策を講じる」

二、一の決議に基づき、以下の提起を行う。

1) 環境対策委員会の設置

環境対策のための具体的手段を検討しそれを実行に移すため、全学実行委員会内に「11月祭環境対策委員会」を設置する。

2) 構成

「11月祭環境対策委員会」は、11月祭に参加する意志を有するもので、11月祭の環境負担を削減しようとする意志を持つ者によって構成される。

3) 業務

「11月祭環境対策委員会」は第67回11月祭において、成立した環境対策を円滑に行うための業務を行う。また、「11月祭環境対策委員会」は事務局その他の機関の業務を共同して行うことができる。

4) 企画・参加者への周知徹底

全学実行委員会は第67回11月祭における各企画運営者・参加者（模擬店、来場者等）に対して、様々な機会を通して環境対策の広報宣伝、周知徹底を行う。

以上